

## 管理職も研修に取り組んでいます！

島根県教育委員会では、平成 26 年に策定された「学校管理職等育成プログラム」に基づき、計画的に管理職研修を行っています。今年度も新型コロナウイルス感染症の対策に留意し、オンデマンドによる講義等も取り入れながら研修を行いました。主なものを以下に紹介します。



### 管理職としての心構えと役割・実務について理解！ ～管理職研修(新任副校長・新任教頭)～

新任副校長・新任教頭対象の管理職研修は、年 3 回の実施となっています。5 月の第 1 回は、学校教育の基本となる「特別支援教育」「リスクマネジメント」「人権教育」について確認するとともに、「教育法規・サービス」について事例を交えながら研修を行いました。

7 月に行われた第 2 回は「評価システム」「リスクマネジメント」「学校経営ゼミ」について。中でもリスクマネジメントは「学校がとるべき災害対応の具体」と「保護者と学校のよりよい関係」の 2 本立てでしたが、災害対策についての内容では、広島市立梅林小学校前校長の中西浩二氏を招き、新型コロナウイルス感染症の対策を施しながら災害対応の実際について学びました。

受講者からは「先日の災害があった後だったので、かなり具体的なイメージをもって研修を受けることができた。同様に、どの研修も「本校の体制で考えると…」とおきかえて考えることができた」「管理職としての心構えや、学校のため、生徒のため、職員のためにさらに頑張りたいという意欲が高まりました」などの感想がありました。

今後学校を支える管理職としてますますの活躍を願っています。

### 組織的な危機管理体制の構築を目指して！ ～管理職研修(2年目校長)～

経験年数による管理職研修として計画されている最後の研修が、2 年目校長対象の管理職研修です。今年度は 11 月に東部・西部の 2 会場で実施しました。

県内中学校前校長による「信頼される学校づくりのためのスクール・マネジメント」と題した講義・演習では、実際に経験した事例をもとに、校長としての組織づくりや関係諸機関との連携について、気をつけておくべきことや心構えなどについて学びました。また、新任の校長先生と合同の学校経営ゼミを行い、日頃取り組んでいることなどを話し合いました。

受講者からは「校長としてどう学校経営に向かい、リスクマネジメントしていくかということ(経験、実践されたことを交えてのお話だったので)改めて自覚・認識させていくことができました。とても身の引き締まる思いになりました」「学校経営ゼミでの協議は刺激になった。他校の取組も参考にしてみたい」といった声が聞かれました。



今後学校を支える柱である校長先生を支えられるような、充実した研修を企画していきたいと思っております。

### 管理職のさらなる学びとして！ ～小中学校等校長学校経営実践研修&小中学校等教頭学校運営実践研修～

経験年数の異なる校長先生・教頭先生が一堂に会する機会を設けることでより実践的な研修を行うとともに、島根の教育における重要課題について共通理解を図るため、平成 30 年度から小中学校等校長学校経営実践研修が、平成 31 年度から小中学校等教頭学校運営実践研修が、それぞれ<sup>しゅがい</sup>悉皆研修として始まりまし

今年度は「人権教育」「しまねの学力育成推進プラン」「教職員の働き方改革」「人材育成」などをテーマに、現在県内の各学校が抱えている課題について理解を深めるとともに、自校の状況に落とし込んで考える機会になりました(今年度の小中学校等校長学校経営実践研修はオンデマンド開催)。

受講者からは「『子どもにさせる人権教育から、大人がする人権教育へ』との言葉が印象に残った」「ジグソーパズルのように、一つの正解を早く探し出すのではなく、目的に応じて適したブロックを組み立てる力を必要な学力として捉えるのは、分かりやすかった」「時短オンリーの働き方改革ではなく、意識や生き方の改革を進める必要があるという部分に共感できた」といった感想がありました。

この研修を機会に、各学校の課題改善に向けた動きがさらに広がっていくことを期待しています。